

定例記者会見要旨

日 時：令和3年4月1日（木）15：00～15：40

場 所：日本薬剤師会第二会議室

出席者：山本会長、安部副会長、磯部専務理事

提出資料：

1. 第106回薬剤師国家試験の結果（抜粋）について
（令和3年3月24日付 事務連絡）
2. 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施体制への協力について（お願い）（その4）
（令和3年3月24日付 日薬業発第534号）
（参考）
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施体制への協力について（お願い）
（令和3年1月25日付 日薬業発第451号（一部抜粋））
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施体制への協力について（お願い）（その2）
（令和3年2月12日付 日薬業発第479号）
 - ・新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施体制への協力について（その3）
（令和3年2月16日付 日薬業発第487号）
3. 第5回 医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議資料（一部抜粋）
（令和3年3月26日）
4. 第54回日本薬剤師会学術大会開催案内（予告③）
（令和3年4月1日 日本薬剤師会雑誌 第73巻第4号）

1. 第106回薬剤師国家試験の結果について

安部副会長より掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

厚生労働省より、令和3年2月20日、21日に行われた、第106回薬剤師国家試験の結果が発表されたので報告をする。

今回から薬学教育モデル・コアカリキュラム（平成25年度改訂版）による6年間の教育を受けた、新卒受験生が初めて試験を受けており、受験者数14,031名のうち、6年制新卒の合格者は7,452名、合格率85.55%（合格者数総数は9,634名、全体での合格率は68.66%）となった。

一方で、新卒の出願者数と受験者数に約1,200名の差があることに対しては、「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」でも議論が行われており、薬剤師の需給調査なども踏まえてどのような対応が必要か、同検討会等で議論を行う予定である。

2. 新型コロナウイルス感染症に係る予防接種実施体制への協力について

磯部専務理事より掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

現在、各市町村において新型コロナウイルス感染症に係る予防接種体制の構築が進められており、各都道府県薬剤師会並びに地域薬剤師会に対しては、その体制構築への積極的な協力を要請している。これを踏まえ、各都道府県薬剤師会および地域薬剤師会が取り組んでいる自治体や都道府県、医師会等との連携や新型コロナワクチン接種に関する研修会内容等の情報を共有するた

めに、「新型コロナウイルス感染症の予防接種実施体制への協力について（お願い）（その4）」の通知を發出した。

これを受け、各都道府県薬剤師会からは、「新型コロナワクチンの接種の進め方に関する研修動画の制作」、「新型コロナワクチンの希釈等の研究」等の取り組みを行っているとの報告が寄せられつつあり、特に薬液充填に関する取り組みは多くの地域で行われているようである。今後も各都道府県薬剤師会、地域薬剤師会と情報共有を行い、薬剤師が地域の実情に応じた活動をしていくための支援を行っていく予定である。

3. 医療用医薬品の安定確保策について

安部副会長より掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

令和2年9月に、「医療用医薬品の安定確保策に関する関係者会議」において、「安定確保医薬品」という新しい定義が設けられたことを踏まえ、国として安定確保が必要な医薬品を管理するために、カテゴリの振り分けや手順の構築が検討されている。

今般、当該会議のワーキングでの議論やパブリックコメントを経て、「最も優先して取り組みを行う安定確保医薬品（カテゴリ A）」等の分類に関する整理と、医療用医薬品の供給不足時の対応スキームが作成された。

今後は、共同開発で多品目名称の後発医薬品が発売されることにより、薬局等の在庫負担と安定供給への問題及び薬価についても併せて、同会議で引き続き議論を行う予定である。

4. 第54回日本薬剤師会学術大会（福岡大会）について

磯部専務理事より掲題の件について説明された。主な内容は以下の通り。

第54回日本薬剤師会大会は、令和3年9月19日と20日に福岡県福岡市で開催する。昨年に引き続き、現地参加またはWeb参加のハイブリッド方式での開催を予定している。

大会の詳細や参加の予定人数等は、決まり次第随時報告する予定である。

記者からの質問は以下の通り。

記者：安定確保医薬品のカテゴリについて日薬としての見解を伺いたい。

安部副会長：安定確保医薬品のカテゴリの整理は、各学会からの意見とパブリックコメントを反映させており、適切な手順で選定できたと考えている。

記者：カテゴリに入れるべき医薬品が選定されていない事例があれば伺いたい。

安部副会長：パブリックコメントを踏まえて適切に対応しているため、妥当であると思う。当該カテゴリに入っていない医薬品で安定確保に問題が生じた場合には、その都度適切な対応が行われる予定である。

記者：安定確保医薬品の薬価措置について伺いたい。

安部副会長：最も優先して取り組みを行う安定確保医薬品（カテゴリ A）（21成分）の品目であっても、薬価の引き下げを受ける対象にある医薬品については、「不採算品再算定」、「最低薬価」、「基礎的医薬品」の従来薬価制度で対応が可能であるか検討しているところである。この件については、中医協や、社保審の保険医療部会などとの議論も必要になると認識している。

記者：本年度の薬剤師国家試験の新卒の受験者数と、合格者数に差があることに対して、モデル・コアカリキュラムが要因であったという理解でよいか。

安部副会長：予測的な要因の一つとしては、モデル・コアカリキュラムの影響も考えられるが、実際の要因を特定するには、さらに詳しい分析が必要である。

記者：新型コロナウイルスのワクチン接種の実施体制の協力の状況について、都道府県薬剤師会から情報提供があったのは今のところ、新潟県、愛知県、広島県、静岡県でよいか。

磯部専務理事：他の現場でも協力体制を進めていると思うが、現時点で報告があったのはその 4 県である。

記者：今回の薬剤師国家試験の合格者数は 9,634 名であるが、どのように受け止めているのかを伺いたい。

山本会長：一概に多いか少ないかの評価は難しいが、個人的な感覚としては、少ないというイメージではない。

次回の定例記者会見は、令和 3 年 4 月 14 日 (水)、15 : 30～

以上